

一緒にしましょう コミュニティづくりを!

中野ふくし倶楽部通信

「中野ふくし倶楽部」は、主に中野区に暮らす人々の福祉の向上と子どもたちの豊かな育ちに貢献することを目的としています。

NPO 法人 中野ふくし倶楽部
 発行責任者 田中芳樹
 中野区中央 4-53-7 YHNビル 101
 TEL 03-3384-5616
<http://www.nfcaozora.org/>

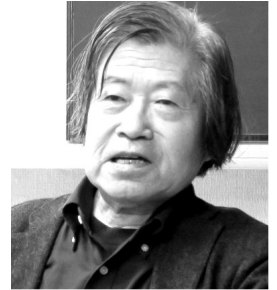
11月18日
 学習と交流の
 連続講座

どうなる、これからの介護と医療

やっぱり中野で暮らしたい! その希望はどこに

全国老人福祉問題研究会運営委員、「介護保険白書」編集委員

矢部 広明 先生



用意して頂いたスライドは 137 枚! 中野区発表の数字もまじえ、ポイントを突いた内容に引き込まれました。

いまの介護と医療…心配なことがたくさん。中野区では介護者の半数以上が高齢者。そして 3 年以上介護を続けている人が 8 割です。自分の健康にも、経済的にも不安を感じながら介護している実態は深刻です。

一方、介護保険は「改悪」が続いています。介護報酬の 2.27% 引き下げ、利用者には 8 月から所得に応じて利用料 2 割負担が実施されています。

区民が求めているのは、ショートステイの確保、訪問介護サービスの充実、緊急時にも対応できる体制の整備など、安心して介護できる施策です。

ところが、政府財界が構想するこれからの介護と医療は、びっくりするような凄まじいものです。東京圏の高齢者を地方へ移住させて「高齢者村」を作るという提言、これには異議が殺到しているそうです。

参加者からは「社会福祉法人の今後は?」「ボランティアと言っても誰がやってくれるの? 全く見えない」などの声が出されました。財源については、「利権にからむお金なら無尽蔵にある。社会のため、福祉のため、人間のために使うべき。」

高齢者へのエールとして、胸を打つ言葉がありました。「老人は死ぬまで発達する。老人が輝く社会を作ろう。『自分らしく』はよく言われるが、その前に『人間らしく』生きたい」。深く共感しました。

今年4月からテイサービスの介護報酬は大幅に引き下げられたとりわけ、要支援者への引き下げがすさまじい!!

通常規模通所介護 (7 時間以上 9 時間未満) (1 回)

	改定前	改定後	増減	増減率
要介護 1	695	656	-39	-5.6%
要介護 2	817	775	-42	-5.1%
要介護 3	944	898	-46	-4.9%
要介護 4	1071	1021	-50	-4.7%
要介護 5	1197	1144	-53	-4.4%

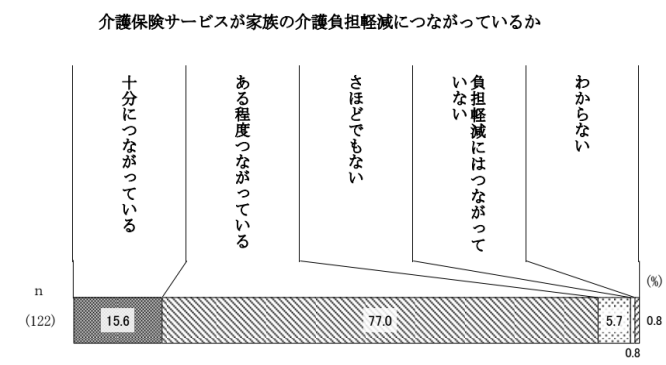
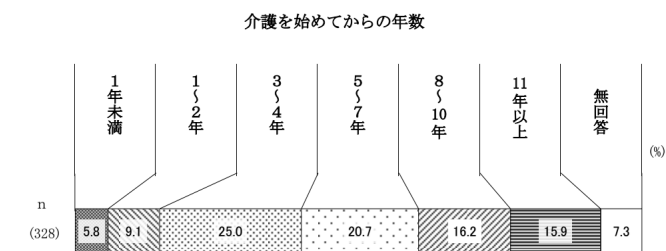
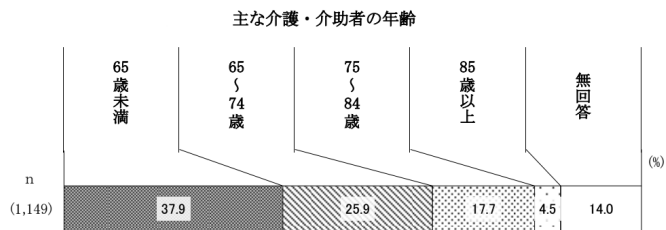
介護予防通所介護 (1/月)

	改定前	改定後	増減	増減率
要支援 1	2115	1647	-468	-22.1%
要支援 2	4236	3377	-859	-20.3%

大阪府内通所介護事業所アンケート調査結果

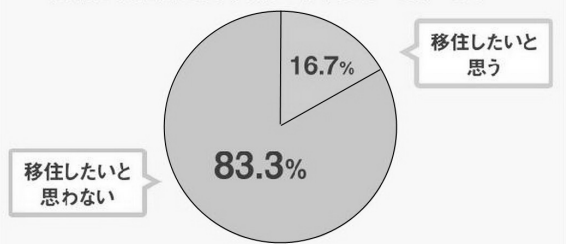
2015年10月8日 大阪社会保険推進協議会介護保険対策委員会

中野区 平成 26 (2014) 年度 高齢福祉・介護保険サービス意向調査より



東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県に在住の65歳以上の男女にアンケート

Q.「高齢者の地方移住」^{※1}の提言を受けて、あなたは当事者として、地方に移住したいと思いますか?



※1 民間有識者で構成する日本創成会議が2015年6月4日に公表した「東京圏高齢化危機回避戦略」

塾には行っていないけど、都立高校に合格したい
そんな願いをサポートします

始まりました！子どもの居場所 友・ゆう・YOU

私たち中野ふくし倶楽部は、10月20日に中野区社会福祉協議会の30番目の「まちなかサロン」として「友・ゆう・YOU」をオープンしました。塾に行っていない子どもが対象です。男子一人に素直で可愛い女の子二人、元教師Kさん、元塾教師Yさんと90分間しっかりと数学の勉強、来春15の春を笑顔で迎えられるようにと双方頑張っています。

勉強後の軽食には、月一回でプロの手打ちうどん、30キロのお米や手作りお菓子が届くなど多くのご寄付をいただいています。美味に感謝しつつ、子どもたちの弾ける声が分室から聞こえます。支援してくださる方々に感謝！



9・10月のチャイルドライン中野の実績
9月 電話147本、うち話ができた27本
10月 電話162本、うち話ができた49本
9,10月は「Tokyoキャンペーン」でした。東京の子どものみの電話を受けました。

今年の年の瀬も 最高の気分で！ ジャズ&ディナー2015 三上和彦とデキシールランドステイツ

12月18日(金)
午後6時30分 start
中野サンプラザ14F

先着100名様 会費:お一人様10000円
お申込みは
TEL 03-3384-5616
FAX 03-3384-5617
Mail info@nfcaozora.org
振込先:ゆうちょ銀行10150-62535571
特定非営利法人中野ふくし倶楽部



お元気ですか？

理事長 大畑 きぬ代

ドイツのあるホスピスのシェフの物語。デルテ・シッパ著「人生最期の食事」に触発されました。95歳のTさん、30キロ、「デイのお粥は沢山つくるからか本当に美味しい」とおっしゃる。舌でつぶせる程度の美味しいものを発見した時は嬉しいと、Tさん、同居人がスーパーで買ってくる物は食べられない、と言うや「自分で買って来い。自分で行かれないなら早く死んじゃえ」と喧嘩するんですとか。

先日厚労省の三浦労働局長の話聞く機会があった。体格のいい氏は管理栄養士さんにメタボの指導を受けたが、「私は食べたい物を、飲みたい物を飲む。ほっといてくれ」と言ったんだとか。食べることは生きる意欲にも繋がる大事なことですよ。私が最期に食べたい物を何とシェフにお願いするだろうか。里芋の味噌汁か、伊勢海老の踊りか。“美味しい”と感じる自分で最期までいたい。

市民オンブズパーソン中野 公判で奥田けんじ氏が証言

市民オンブズパーソン中野 山崎由紀子

11月17日(火) 政務活動費不正使用裁判の第5回公判が703号法定で行われました。奥田けんじ氏は証人として裁判官の前に立ちました。

原告側弁護士の質問に続き、被告側の弁護士の質問がありました。奥田氏がうまく証言できないところを補いかばうような質問でした。最後は裁判官からの質問です。奥田氏が企画したイベントなど、年月日などはっきり言えないことに改めて正確に報告するよう求めました。26年度青年会議所の中野区委員会に1度も出席していませんが、年会費18万円、政務活動費から支出しています。東洋大学大学院の学費も春学期分だけでも45万円支払っています。これが「常識」でしょうか。

中野ふくし倶楽部日誌

- 10月20日 「友・ゆう・YOU」開設
- 11月2日 第5回理事会
- 11月17日 市民オンブズ訴訟 第5回公判
- 11月18日 学習と交流の連続講座
- 11月26日 あおぞらスキルアップ研修
「高齢者が飲んでいる薬のこと」
- 11月30日 第6回理事会